

高校生のための 街なかオープンカレッジ 2009.8

大学で学ぶことは何なの？ 大学の先に、社会や地域で何が待っているの！ 学生や市民も参加…



地域学実習と調査報告



人口減少時代の地方都市再生
岐阜市にみるサステナブルなまちづくり
合田昭二・白根久・山崎仁朗・富樫幸一



マイスター倶楽部の活躍

高校生の皆さんは、受験・進学に向かって、どのような大学や学部で学びたいのか、いろいろと考えていると思います。岐阜大学と岐阜経済大学が共同開催するこのオープンカレッジでは、こんなことを皆さんに伝えたいと思っています。

1 いろいろな分野から学んでいく意味：経済学・経営学、まちづくり・自治・環境・文化・社会

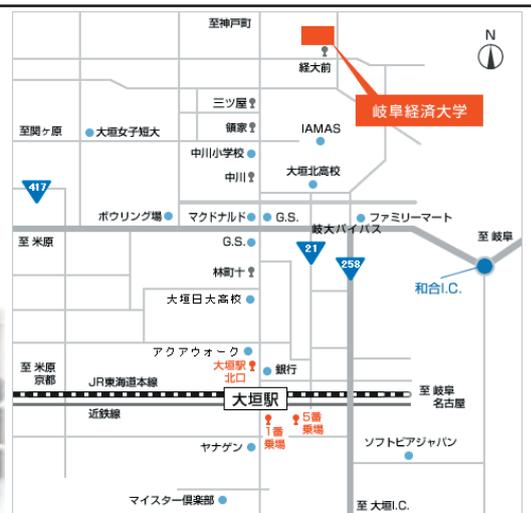
商品開発、まちづくり、地域福祉、スポーツ経営などのテーマを取り上げて、いろいろな分野からの見方とその違い、討論などを通じて、高校までとは違う大学での学び方について、実際に体験してもらいたいと思っています。

2 大学から、就職、社会や地域に開かれていくために

大学で学んだその先には何があるのか想像してみませんか。企業や市民の方々、少子化対策や若者定着などを図ろうとしている行政とも連携して、岐阜市と大垣市で、地域に開かれたオープンキャンパスを開催します。

8月17日(月)は柳ヶ瀬あい愛ステーション

岐阜市柳ヶ瀬通2-17



8月18日(火)は岐阜経済大学

8月17日と18日の2日間、2つの会場で、午前と午後、4つのテーマで開催します。

どちらへも(両方でも)、どのテーマでも自由に参加できます。

自分が興味のあることを、ここで見つけよう!

プログラム：2日間、午前と午後の4つのテーマと講師の皆さん

岐阜／あい愛ステーション：8月17日（月）	大垣／岐阜経済大学：8月18日（火）
<p>午前の部：10時～11時半</p> <p>① <u>スポーツ経営と地域経済</u></p> <p>■ <u>スポーツ経営学—先進プロスポーツクラブの事例研究から—</u> （大野貴司・岐阜経済大学経営学部専任講師）</p> <p>経営学という学問が誕生して百年余。その対象は企業のみならず、病院や大学、そしてスポーツ組織などにも拡張されています。本講義では、経営学という視角からスポーツ組織、ひいてはスポーツのあり方を考えていく「スポーツ経営学」について、プロスポーツを中心に考えていきます。</p> <p>□ <u>地域経済効果</u> （三井 栄・岐阜大学地域科学部准教授）</p> <p>スポーツを「する」「みる」「支える」ことにより、私たちは様々な恩恵を受けています。「健康」への効果に加え、家族、友人、地域住民とのコミュニケーション向上や地域再生などの「地域活性化」による経済的な波及効果について考えてみたいと思います。</p>	<p>午前の部：10時～11時半</p> <p>③ <u>地域福祉とソーシャルワーク</u></p> <p>□ <u>地域福祉計画の作り方（S市の例）</u> （高木和美・岐阜大学地域科学部教授）</p> <p>「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」をめざしたある市の地域福祉計画を、わかりやすく紹介します。計画を作るために、どのような人たちが集まり、どのように暮らしの声をつかんでいったか、調べたことを生かしてどのような計画を作ったか一緒に学びたいと思います。</p> <p>■ <u>ソーシャルワークの考え方</u> （山田武司・岐阜経済大学経済学部准教授）</p> <p>ソーシャルワークとは、社会福祉の相談援助のことです。「相談」というと、カウンセリングや心理療法を思い浮かべますが、ここでは、ソーシャル（社会）との関係がキーワードになります。このソーシャルワークを、ケースワーク（個別援助）を中心に、皆さんと一緒に考えていきましょう。</p>
<p>午後の部：13時～15時半</p> <p>② <u>デパートの誕生と今、学生とまちの活力</u></p> <p>□ <u>デパートの誕生</u> （内田 勝・岐阜大学地域科学部准教授）</p> <p>19世紀フランスの作家エミール・ゾラは、パリのデパートを舞台にした小説を書き、若く貧しい女子店員の恋と出世を描くとともに、急成長を続けるデパートの画期的な販売戦略や、地元商店街との軋轢（あつれき）もまたリアルに描写しています。古い小説を題材に、現代に通じる問題を考えてみましょう。</p> <p>■ <u>学生の力をまちの活力に</u> <u>～岐阜経済大学マイスター倶楽部の挑戦</u> （菊本 舞・岐阜経済大学地域連携推進センター） 池上宜志・マイスター倶楽部 経済学部4年次生）</p> <p>大垣駅前の商店街の中に、マイスター倶楽部が、学生のまちづくり活動の拠点として誕生してから10年が経ちます。学生たちは、商店街をはじめ地域の方と様々なイベントや調査研究等の「まちづくりプロジェクト」を実施してきました。学生がまちなかで果たしてきた役割やこれからの可能性について、具体的なまちづくり活動の紹介をしながらお話します。</p>	<p>午後の部：13時～15時半</p> <p>④ <u>商品開発・起業・まちづくり</u></p> <p>■ <u>商品開発・起業</u> （田中裕介・田中屋せんべい総本家専務） 野松敏雄・岐阜経済大学経営学部教授）</p> <p>田中屋せんべい総本家は創業、安政6年、150年の歴史を誇る大垣の老舗です。歴史の中で培われ現代に生きる商品開発の心構えとその仕組みについて簡単にお話します。そして、起業や経営革新を考える場合にも、この商品開発がビジネスアイデアやビジネステーマとも密接に関係します。商品開発による起業・経営革新の取り組みについてもお話します。</p> <p>□ <u>中心商店街の役割と魅力</u> （富樫幸一・岐阜大学地域科学部教授）</p> <p>かつては「肩が触れ合う」ほど賑わっていた柳ヶ瀬なども、大型店の撤退や空き店舗の増加で空洞化しています。高校生の皆さん自身も、おとずれることが少なくなっているかもしれません。街なかでの買物に必要な役割と、ユニークなお店と人の魅力、人と人のつながりを調べてみませんか。</p>

問い合わせ先：

岐阜大学地域科学部

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

代表：TEL 058-293-3002 FAX 058-293-3008

岐阜経済大学 企画広報課

〒503-8550 大垣市北方町 5-50

代表：TEL 0584-77-3534 FAX 0584-81-7807

申し込み用紙 （7月21日まで、先着順で受け付け、余裕がある場合は当日参加も可能です）

高校	学年	参加予定（○を付けてください）		
氏名		17日	午前	午後
		18日	午前	午後